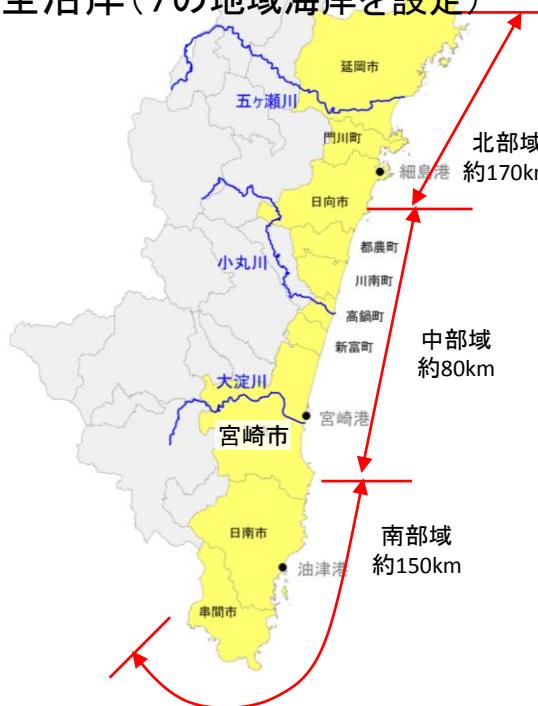
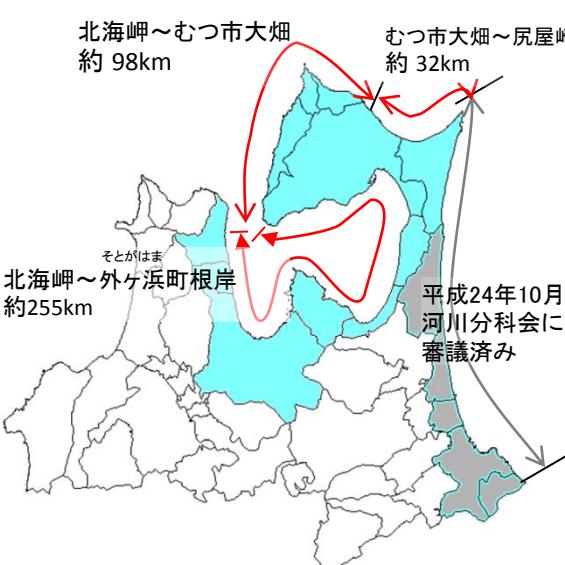
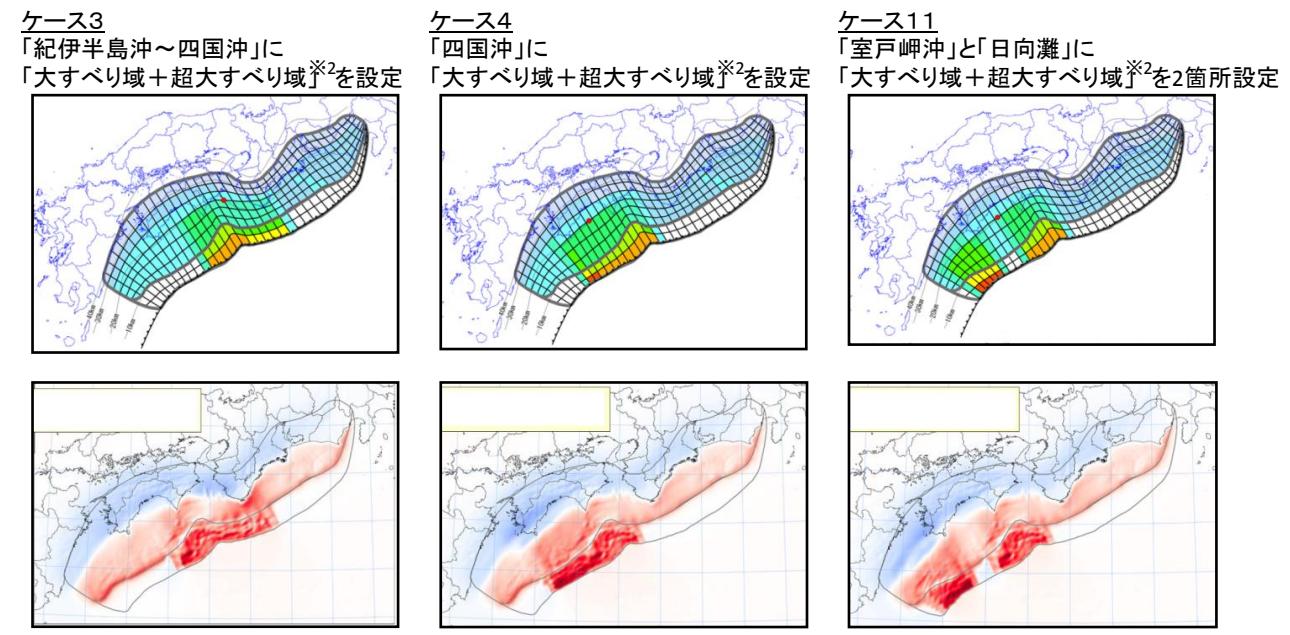


各県の津波浸水想定概要

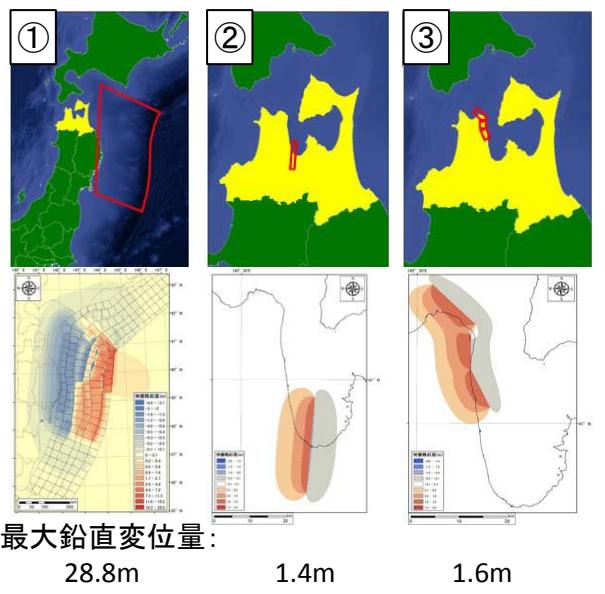
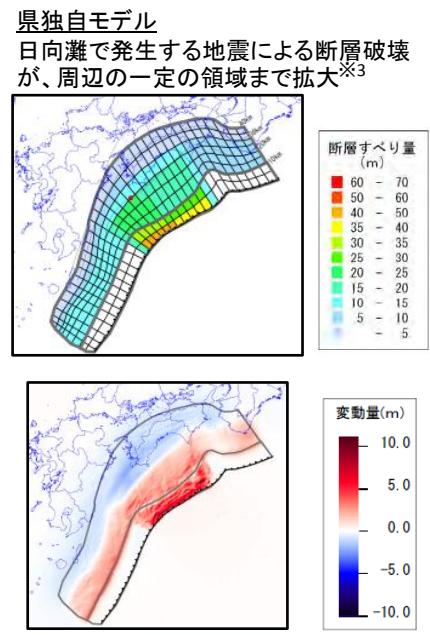
県名	徳島県	高知県	宮崎県	青森県
今回設定範囲	全沿岸(7の地域海岸を設定)  <p>讃岐阿波沿岸:約58km 紀伊水道西沿岸:約184km 海部灘沿岸:約151km</p>	全沿岸(25の地域海岸を設定)  <p>室戸岬~足摺岬 約450km 徳島県境~室戸岬 約50km 足摺岬~愛媛県境 約220km</p>	全沿岸(7の地域海岸を設定)  <p>北部域 約170km 中部域 約80km 南部域 約150km</p>	下北八戸沿岸の残部 及び陸奥湾沿岸 (7の地域海岸を設定)  <p>北海岬~むつ市大畑 約98km むつ市大畑~尻屋崎 約32km 北海岬~外ヶ浜町根岸 約255km 平成24年10月河川分科会にて審議済み</p>

想定津波(断層モデル)	●南海トラフの巨大地震による想定津波 ^{※1} ケース3、9、10、11	●南海トラフの巨大地震による想定津波 ^{※1} ケース3、4、5、9、10、11	●南海トラフの巨大地震による想定津波 ^{※1} ケース4、11 ●宮崎県独自モデルによる想定地震津波	●青森県独自モデルによる想定地震津波 ①H24青森県太平洋側独自断層モデル 「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会(中央防災会議)」による平成17年の検討結果を基に、三陸北部の地震と明治三陸タイプ地震を網羅する津波断層領域を想定 ②H24青森県青森湾西岸断層帯(入内断層)独自断層モデル 平成21年産総研調査結果報告を基に想定 ③H24青森県平館断層独自断層モデル 平成24年産総研調査結果報告を基に想定
-------------	--	--	---	---

南海トラフの巨大地震モデルの例



宮崎県独自モデル



※1 平成24年8月29日「南海トラフの巨大地震モデル検討会」公表モデルによる想定津波
 ※2 2011年東北地方太平洋沖地震、2010年チリ地震等を参考に、大すべり域等の面積は断層全体の20%と設定している
 ※3 大すべり域、超大すべり域の設定の考え方は「南海トラフの巨大地震モデル検討会」になっている

県名	徳島県	高知県	宮崎県	青森県(今回設定した沿岸のみ)
県内の最高津波水位	20.9 (T.P.m) (美波町内) <small>みなみ</small>	—	16.0 (T.P.m) (串間市内)	11.5 (T.P.m) (東通村内) <small>ひがしどおり</small>
最大浸水深等	10m以上 <small>あなん みなみ むぎ</small> (阿南市、美波町、牟岐町、海陽町内)	20m以上 (室戸市, 土佐市, 須崎市, 四万十市, 土佐清水市, <small>すくも</small> 宿毛市, 中土佐町, 四万十町, 大月町, 黒潮町内)	16m (串間市内)	11.65m (風間浦村内) <small>かざまうら</small>
沿岸に津波が到達するまでの時間	海岸線から沖合30mにおいて±20cmの水位変化が確認されるまでの最短時間 4分 (海陽町内)	沿岸部において浸水深30cmの水位変化が確認されるまでの最短時間 5分以内 (室戸市, 高知市, <small>すくも</small> 宿毛市内)	海岸線から沖合30mにおいて、+1mの水位変化が確認されるまでの最短時間 14分 (日南市)	海岸線から沖合30mにおいて±20cmの水位変化が確認されるまでの最短時間 0分* ※断層の直近の地点のため、地震発生直後に津波の水位が上昇すると想定されたもの
浸水面積 浸水深1cm以上	201.4km ² (平成24年8月29日 内閣府公表値 117.6km ²)	192.6km ² (平成24年8月29日 内閣府公表値 157.8km ²)	142.8km ² (平成24年8月29日 内閣府公表値 123.9km ²)	13.0km ²
重要施設の浸水深	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁 0.3～1.0m ・市町村庁舎 <ul style="list-style-type: none"> 徳島市 1.0～2.0m 鳴門市 1.0～2.0m 松茂町 2.0～3.0m 北島町 1.0～2.0m 小松島市 2.0～3.0m 阿南市 0.3～1.0m 美波町 2.0～3.0m 牟岐町 5.0～10.0m ・徳島阿波おどり空港 3.0～4.0m 	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁 浸水なし ・市町村庁舎 <ul style="list-style-type: none"> 東洋町 2.0～5.0m 室戸市 2.0～5.0m 奈半利町 2.0～5.0m 田野町 2.0～5.0m 安芸市 5.0～10.0m 中土佐町 5.0～10.0m 黒潮町 5.0～10.0m 土佐清水市 2.0～5.0m 宿毛市 5.0～10.0m ・高知龍馬空港: 5.0～10.0m 	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁: 浸水なし ・市町村庁舎 <ul style="list-style-type: none"> 日向市 0.3～1.0m 門川町 2.0～5.0m ・宮崎空港 5.0～10.0m 	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁: 浸水なし ・市町村庁舎 <ul style="list-style-type: none"> 風間浦村 1.1m
津波浸水想定の設定を踏まえた県の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・県と関係市町等で連絡調整会議を開催し、津波災害警戒区域の指定等を検討。併せ、推進計画の策定を推進。 ・市町等と連携し津波避難計画の策定を推進 ・避難ビルの指定や避難路の整備を推進 (H24年度末 徳島市において472箇所を避難ビルに指定済) 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画の作成や津波災害警戒区域の指定については、市町村や関係機関と協議を行って今後の進め方等を検討していく。 ・市町村と連携し津波避難計画を見直し ・見直した津波避難計画に基づきハザードマップを作成中 (H24年度末 15/19の沿岸市町村で作成済) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県・市で連絡会を開催し、津波災害警戒区域の指定等を検討。併せ、宮崎市及び日向市をモデルケースとして推進計画の策定を推進。 ・県により津波避難計画の見直しを支援する補助制度を創設 	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県・市で意見交換会等を開催し推進計画の作成を推進。 ・市町村と連携し津波避難計画の策定を推進 ・策定した津波避難計画に基づき、津波ハザードマップを作成中